

令和2年 7月 1日

令和2年度 社内監査（事業者自己評価）

重症児デイルーム AQUA 担当 徳永 尚子

就業中の9名の職員で評価を行い

1. 良くできていると思う。
2. まだ改善の余地があり満足できてない。
3. 改善の必要がある。

の三段階で評価した、また、多数の職員が2. 3.と評価した項目については改めて改善に向けての対策を検討することにした。

		評価者	徳	石	中	堤	岸	小	上	上	琴		
		永	隈	園		田	副	田	滝	岡			
		チェック項目						川					
体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係上適切であるか	2	2	1	1	1	2	2	1	1	利用者様の成長もあり、狭さも感じるが、規程内の平米数なので特に問題は無い。利用者様の利用数が多く十分な広さが確保できない場合は各静養室にて対応している。	
	②	職員の配置数は適切であるか	1	1	1	1	1	1	1	1	1	基準以上に配置している。基準以上に看護師などの専門職を配置している。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	1	1	1	1	1	2	2	1	施設内は完全バリアフリー化している。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	1	1	1	1	1	2	1	3	1	業務を進める過程で改善する事項があれば会議を通し改善している。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1	毎年、保護者会を行い利用保護者の意見を取り入れている。今年度は新型コロナの影響があったが、オンラインを通して保護者会の実施をした。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	1	1	1	1	2	1	1	1	毎年、保護者会を行い、自己評価及び、アンケートをホームページにて記載している。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1										第三者評価について、評価の依頼先が非常に少ない。依頼を行う事業所についても他県の事業所へ依頼することが望ましいため、時間が限られている現状では難しい。尚、今年度は感染症流行もあり実施できなかった
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	社外研修はもちろんのことで、社内研修も行い、研修の成果を社内へ反映している。
適切な	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上通所支援計画を作成しているか。	1	1	1	1	1	1	1	1	1	利用者様のニーズに沿ってアセスメントを行い計画の作成を行っている。、保護者又はその家族への聞き取りを行い計画の見直しを行っている。	

支援の提供	⑩	利用者の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	3	1	1	1	1	1	2	1	標準化されたアセスメントツールについては重心クラスもあり、障害特性の違いがあるので物差しとなり得ない。自社独自のアセスメントツールを作成し基本情報の収集を行っている。多種に対応したアセスメントツールを使用している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	1	1	1	1	1	1	1	3	平日については、時間の関係上活動内容に限りがあるが、週末や長期休暇の際は率先して地域参加による郊外活動をおこなっている。今年度は自粛することもあった。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1	季節に応じたイベントや企画を行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1	2	2	2	1	1	1	2	1	長期休暇前に、事前に会議を行い、問題点の把握に努めている。
	⑭	利用者の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて通所支援計画を作成しているか	1	1	1	1	1	1	1	2	1	可能な限り、状況に応じて実施している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1	2	1	2	1	1	2	2	1	前日や当日のミーティングで打ち合わせを職員同士で行っている。必要であれば、安全対策介護も開催し、認識の統一を図っている。
適切な支	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	1	1	2	1	2	1	2	1	当日に、前日の振り返り、反省点などを職員間で共有している。尚、職員の出勤日が固定ではないため、申し送り簿等を使用し情報共有する場合もある。
	⑰	日々の支援に関して正しく記	1	1	1	1	1	1	1	1	1	日々の業務日誌やサービス提供記録などの記載を行っている。必要に応じモニタリングを行い、アセスメントを記録している。

援 の 提 供		録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている										
	㊸	定期的モニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか	1	1	1	1	1	1	1	1	定期的に行っており、利用者様、保護者様の意向に応じ早めの見直しにも対応している。	
	㊹	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	1	1	1	1	1	2	2	3	1	ガイドラインの掲示を行っており、各自で確認するよう徹底している。活動は複数組み合わせることが当たり前で、更に自社サービスも行っている。
適 切 な 支 援 の 提 供	㊺	相談支援事業所のサービス担当者会議にその利用者の状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1	児発管は可能な限り参加し、担当の職員も参加している。状況に応じ相談支援専門員も交え会議を行っている。
	㊻	学校との情報共有(年間計画)・行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1	送迎時や移行支援会議時は担任の先生とのやりとりを行っている。保護者への対応とし、送迎時に支援中の状況をスタッフが申し送りを行っている。
	㊼	医療的ケアが必要な利用者を受け入れる場合は、利用者の主治医等と連絡体制を整えているか	1	1	2	1	1	1	1	1	1	協力医療機関や嘱託医と契約を交わし連絡体制を整えている。難病の利用者を受け入れる際は、かかりつけ病院が主催するカンファレンスへの参加をし、今後の相談についても報告書を通して実施している。
	㊽	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努め	1	1	2	2	1	2	1	1	1	現在はそのパイプとなる手段がない。アンケートの意図が不明。 (児童発達支援に関係がある) 相互理解の情報共有は依頼があれば、保護者の承諾を得て行いたい。

		ているか										
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1	移行支援介護を行い相談支援専門員との調整の基、会議を行っている。
適切な支援の提供	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	/	/	/	/	/	/	/	/	/	新型コロナウイルスの影響により実施を見送った。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	/	/	/	/	/	/	/	/	/	新型コロナウイルスの影響により実施を見送った。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	2	3	2	2	3	2	3	2	定期的に参加している。今年度はオンラインによる協議会へ参加している。
	㉘	日頃から利用者の状況を保護者と伝え合い、利用者の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1	行っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	1	2	2	1	2	1	2	1	保護者へのトレーニングはその家庭環境なども踏まえなければならないため容易ではない。保護者からの支援内容について相談がある場合はその都度アドバイスを行っている。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1	1	1	1	1	1	1	1	1	説明について、契約を交わす際に行っている。又不明な箇所はその都度、お答えできるよう体制を整えている。
	適	㉛	保護者からの子育ての悩み等	1	1	1	1	1	1	1	1	1

切 な 支 援 の 提 供		に対する相談に適切に応じ必要な助言と支援を行っているか									あくまでも家庭の状況も踏まえなければならないため当初は傾聴することから始めるようにスタッフへは教育している。(必要時応じ相談員との情報共有も行う)
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	/	/	/	/	/	/	/	/	新型コロナウイルスの影響により実施を見送った。
	㉕	利用者や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、利用者や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	1	1	1	1	1	1	1	1	苦情報告書等を駆使し職員への周知を行い、苦情説明担当者を主にして対策を行っている。 又、苦情や意見がなかなか伝えることができない保護者様については玄関受付にご意見箱の設置をしている。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用者や保護者に対して発信しているか	1	1	1	1	1	1	1	1	予約表での保護者への連絡や、各クラス便りを3カ月に1回のペースで保護者へ配布している。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	1	1	1	1	1	1	1	1	見学者やボランティアの方には必ず誓約書を記入していただいている。職員の誓約書は採用時に記載している。
	㉘	利用者や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	1	1	1	1	1	1	1	1	通所支援会議時や、申し送り時に行っている。
適 切 な 支 援	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関われた事業運営を図っているか	/	/	/	/	/	/	/	/	行事については、地域住民との協力や、行政との打ち合わせなどが必要となるため、容易に行うことは難しい。今後、状況が落ち着き次第保護者を招いての行事を行いたい。
	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	1	2	2	1	1	2	1	1

の 提 供	㉞	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1	1	1	2	1	1	1	1	1	200㎡以上の施設については、年2回以上の消防避難訓練を実施することが義務付けられている。 年間2回以上実施している。
	㉟	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1	虐待チェックリストを集計しており、現在まで報告は上がっていない。尚、佐賀県健康福祉部障害福祉課から出前研修を依頼し職員全員が受講できるよう配慮している。
	㊱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、利用者や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	1	1	1	1	1	2	1	1	2	他害や発作など、職員のマンパワー不足によるリスクが生じる場合は保護者様の同意を得て通所支援計画書や身体拘束の同意書を交わし対応する。現在は3名の同意書を取っている。過去に身体拘束を行った事例については、報告書の提出を行っている。
	㊲	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	1	2	1	1	1	1	1	1	アレルギー症状のある利用児童については、保護者を通し、職員への周知を徹底しているが医者の指示書はない。今後、指示書も確認できるよう配慮していく。 職員への周知はミーティング時にアレルギーがある児童の確認を行っている。
	㊳	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1	インシデント報告書の作成を行いミーティング時に周知させ、再発防止に努めている。

社内監査 I 障害福祉通所支援・自己評価